

令和5年 2 月 28 日

焼津市議会議員

会派名 無会派
 経理責任者 石原孝之

令和4年度政務活動費収支報告書

以下のとおり領収書を添えて報告します。

1 収 入
 政務活動 275,000 円

2 支 出

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費		
研 修 費	27,410 円	令和4年10月6日 公立病院経営強化プランと自治体病院経営 15,000 円、交通費 12,410 円
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費	8,820 円	株式会社 政策立案 メルマガ会員 8,820 円 (令和4年6月～令和5年2月分)
人 件 費		
事 務 所 費		
合 計	36,230 円	

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 残 額 238,770 円



研修報告書

焼津市議会議長 様

議員氏名 石原孝之

令和 4 年 10 月 6 日 下記のことについて、研修に参加したため、概要について報告いたします。

研修名	公立病院経営強化プランと自治体病院経営
研修の目的	焼津市は新病院建設基本計画が策定され、全国の自治体病院経営の事例を学ぶため。
所 感	病院は病床数が大きければ大きいほど経営は安定する傾向にある。という話が興味深かった。物理的に患者が多いときめ細かなケアにはつながらないが、病院経営は安定する。このギャップを埋めていけないといけないと感じた。そこには医療従事者の人材採用も鍵になる。コロナ終息後も感染症対策は必須になる。そんな中、経営強化ガイドラインの内容の『改革』から『経営強化』に変更。しかし経営強化は安易なコストカットにつながりやすい。時代の流れは日々変化しているので、病院全体の質を上げて人材に投資していくことが必要だと感じた。少子高齢化は避けられない現状の中で、今回のコロナ禍は将来の病床ひっ迫を先取りしたように感じる。この教訓を活かし、医療体制の強化を見据えていけないといけない。
今後の参考となる事項	2020 年度は新型コロナの患者を受け入れた病院は診療報酬、コロナ補助金で経営収支は大幅改善。2021 年以降もコロナ補助金は続くとみられる。 総務省のホームページに公立病院経営強化ガイドライン等に関する説明会の資料。 第 8 次医療計画(2024 年度～)始まるので、策定作業を併せて 2022 年 2023 年度において、民間医療機関を含め、『地域医療構想に係る各医療機関の対応方針の策定や検証・見直しを求める』とする。

* 上記に書ききれない場合は、適宜別紙を添付してください。

* 参考資料等がある場合は、添付してください。

令和4年度 政務活動費

石原孝之

①

領収証

2022 年 10 月 6 日

石原孝之

様

★

¥15,000

但 10/6 10時～ 公立病院経営強化ガイドラインと自治体病院経営

研修会受講代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田1-2-2

大阪駅前第2ビル2階5-6号室

TEL 050-6868-9678

②

駅-No 520141 領収書-No 56
窓口-No 1
領 収 書

様

金額 ¥12,410円
「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額に領収致しました

2022年10月 6日
海客鉄道株式会社

誠にありがとうございました

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

西焼津駅

現金出納社員

2022年6月～2023年2月分